久屋小だより

～気づき　考え　みんなで創り出すⅢ～　令和５年　８月号

気づき　考え　みんなで創り出す㉙

２学期の始業式で子どもたちに話したことです。

【気づき　考え　みんなで創り出す取組を「本気」でやってみよう。】

「本気」　坂村真民

本気になると
世界が変わってくる
自分が変わってくる
変わってこなかったら
まだまだ本気になっていない証拠だ

本気な恋
本気な仕事

ああ人間一度
こいつをつかまんことには

２学期は，一番長く，全校で取り組む行事がたくさんあります。９月には運動会，１０月には宿泊体験学習，遠足，１１月にはわくわく発表会があります。また，各種審査会に向けた作品づくりもあります。「気づき　考え　みんなで創り出す」を実現させるチャンスが多くあります。昨年度同様，子どもたちには，一つ一つを**「本気」**で取り組んでほしいという願いを伝えました。**「本気で気づき，本気で考え，本気でみんなで創り出す」**ことの大切さを子どもたちに伝えました。

またその際に，一昨年度は，相田みつをさんの「本気」，昨年度は後藤静香さんの「本気」の詩を紹介しましたが，今年度は，坂村真民（さかむら　しんみん）さんの「本気」という詩を紹介しました。一人一人が**「本気で気づき，本気で考え，本気でみんなで創り出す」**ことができれば，そこに「世界（学校）」や「自分」に変化が生まれるということが書かれています。「変化」がなければ，本気になりきれていないことが書かれています。**「本気な恋」は「本気な友情」，「本気な仕事」は「本気な学び」**として考えてみようと子どもたちには話をしました。

「変化」つまり「より豊かな学校」「よりみんなが幸せになれる学校」をめざして２学期も取り組んでいきます。

自分（たち）のペースで，時に休憩しながらも一つ一つのことに**「本気」**で取り組み，***「気づき　考え　みんなで創り出す」***の実現を今学期もめざしていきます。

今後とも，久屋小学校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

５・６年生　運動会に向けた取組

運動会に向けて５・６年生が動き出しています。１学期の児童総会では，スローガンについて５・６年生が提案し，決定しました。それが，『最後まで協力して　超ウルトラ本気で挑戦しよう』です。昨年度にも申しましたが，本番につながる**「過程」**にこそ学びがあります。今後，下級生とともに活動していきますが，上手く進行することができず，悩み，苦労することは必ずあります。しかし，そのたびにみんなで考え，改善・解決していく取組にこそ，運動会を開催する意味や価値があると思っています。

教師主導による指導で，いくら見栄えや体裁が整った表現ができたとしても，そこに子どもたちの思いや願い，こだわりがなければ教育的な価値は低いと思います。少々，整っていないところがあっても，そこに子どもたちの思いや願い，こだわりがあふれていれば，それが一番の表現だと思います。**「自分たちで活動を創っていく」過程**で培われた自治や協働が，子どもたちが将来社会に出た時に，子どもたちを支えていく大事な要素であると私は考えています。

夏季職員研修

８月２８日（月），浜田教育センターの澄川由紀先生をお招きし，図工科の授業づくりにかかわる職員研修を行いました。４月のPTA総会でもお伝えしましたが，来年度，久屋小学校は中国地区造形教育研究大会の会場校となっています。その研究大会に向けて，今年度より図工科授業のあり方をテーマに研究を進めています。

「気づき　考え　みんなで創り出す」図工科授業の実現に向けて，図工で扱う題材に対する「こんな絵を描きたい。」「こんな形を表現したい。」「こんな色で塗りたい。」「こんな材料を使ってみたい。」などの気づきを引き出し，自分なりの根拠をもって表現していくこと，表現をしながら「気づき」に幅をもたせていくこと，互いの鑑賞を通して，いっそう「気づき」に幅をもたせて，表現を豊かにしていくことが，子どもたちの情操と表現，鑑賞の知識・技能・思考を養う大切な図工の学びになっていくと考え，そのための指導のあり方について実践的に研究を進めています。澄川先生からは，そのために指導者として授業の中で留意したいことについて具体的にご指導いただきました。今後，各学級の授業研究を通して，「気づき　考えみんなで創り出す」図工科授業について，全職員でより深く協議・検討をしていきたいと考えています。